



平成 27 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 森下仁丹株式会社
代表者名 代表取締役社長 駒村 純一
(コード番号 4524 東証第 2 部)
問合せ先 取締役常務執行役員 武貞 文隆
電話番号 06-6761-1131(代表)

ビフィズス菌及びビフィズス菌が産生する多糖を利用した
抗アレルギー剤の特許権取得に関するお知らせ

森下仁丹株式会社（本社：大阪市中央区／代表取締役社長：駒村純一）は、大阪府立大学生命環境科学研究科の北村進一教授と有限会社 IPE との共同研究により、ヒトの腸管から分離したビフィズス菌 *Bifidobacterium longum* JBL05 が菌体外多糖(BPS)を産生することを見出し、その多糖の特定に成功しておりました。またその菌およびその菌体外多糖に抗アレルギー作用があることを明らかにし、その内容について特許出願を 2010 年 3 月に行っておりました。この度、特許を取得致しましたのでお知らせいたします。

当社は、長年に亘る研究の成果として、安全性の知見と科学的エビデンスを備えた独自の素材を保有しており、自社内外の製品に応用しております。その中で独自菌株 *Bifidobacterium longum* JBL05 が産生する多糖(菌体外多糖(BPS))について優れた抗アレルギー作用を有することを明らかにしてきました。

今回特許を取得した技術は、腸内常在菌であるビフィズス菌及びビフィズス菌が産生する菌体外多糖といった副作用のない安全な素材を、経口摂取または皮膚に塗布することで、アトピー性皮膚炎や接触性皮膚炎などのアレルギー症状を抑制するといった内容となります。

現在アレルギー患者は増加傾向にあり、アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎などのアレルギー一性疾患の患者も増えており、森下仁丹ではこれらの問題解決の為に本技術の特徴を活かした食品、化粧品、医薬品開発を推進しております。引き続き BPS の有用性を検討し幅広い分野への応用、実用化を目指してまいります。

なお、本件の本年度業績への影響は軽微であり、本年度の業績予想に変更はありません。

名称	: 抗アレルギー剤
出願人	: 森下仁丹株式会社、公立大学法人大阪府立大学、有限会社 IPE
出願番号	: 特願 2010-67639
出願日	: 2010 年 3 月 24 日

以上